

産業環境委員会情報連絡

令和5年9月27日

情報連絡件名	頁
(1) あだち子ども未来起業塾の実施結果について・・・・・・・・	2
(2) 令和5年度「夏休み工場見学及びものづくり体験」の開催結果について・・・・・・・・	4
(3) 「間引き野菜」の学校給食への活用について・・・・・・・・	6
(4) 区民農園の利用者募集について・・・・・・・・	7
(5) 山ノ内町での友好自治体提携記念の植樹式について・・・・・・・・	9
(6) 令和5年度東武健康ハイキングへの企画協力及び実施について・・・・・・・・	11

(産業経済部)

産業環境委員会情報連絡

令和5年9月27日

件 名	あだち子ども未来起業塾の実施結果について																	
所管部課名	産業経済部 企業経営支援課																	
内 容	1 実施内容 5人1グループに分かれて、SDGsについて学びながら、会社作りから事業計画策定、資金調達、販売、決算まで、起業の一連の流れを体験した。																	
	2 実施日時・会場 日時：令和5年8月5日（土）・6日（日） 午前10時から午後5時まで 会場：足立区勤労福祉会館（綾瀬一丁目34番7号）																	
	3 参加者数 (1) 児童（各日定員25名） 8月5日（土） 児童21名（応募者数28名） （内訳）5年生12名、6年生9名 8月6日（日） 児童23名（応募者数41名） （内訳）5年生13名、6年生10名 ※ 「子どもの未来応援優先枠」による申込は3名 (2) 協力 足立成和信用金庫（融資担当） 職員延べ4名 文教大学（各グループメンター） 学生延べ10名																	
	4 実施内容 (1) スケジュール																	
	<table><tr><td rowspan="2">午前</td><td>起業・事業計画講座</td><td>50分</td></tr><tr><td>事業計画立案／商品開発</td><td>80分</td></tr><tr><td rowspan="5">午後</td><td>サンプル作り</td><td>30分</td></tr><tr><td>資金調達（協力：足立成和信用金庫）</td><td>40分</td></tr><tr><td>PR・宣伝活動、プレゼンテーション</td><td>35分</td></tr><tr><td>営業・販売</td><td>40分</td></tr><tr><td>収支報告、プレゼンテーション／修了式</td><td>60分</td></tr></table> (2) 発表された商品・サービス 当日発表された子どもたちのアイデア（5グループ×2日）を一部紹介する。 ア AI学習文房具セット 先生の丸付けや親がルールに沿った文房具を揃えるのが大変なので、紙とデジタル両方で使える文房具を学校向けに販売			午前	起業・事業計画講座	50分	事業計画立案／商品開発	80分	午後	サンプル作り	30分	資金調達（協力：足立成和信用金庫）	40分	PR・宣伝活動、プレゼンテーション	35分	営業・販売	40分	収支報告、プレゼンテーション／修了式
午前	起業・事業計画講座	50分																
	事業計画立案／商品開発	80分																
午後	サンプル作り	30分																
	資金調達（協力：足立成和信用金庫）	40分																
	PR・宣伝活動、プレゼンテーション	35分																
	営業・販売	40分																
	収支報告、プレゼンテーション／修了式	60分																

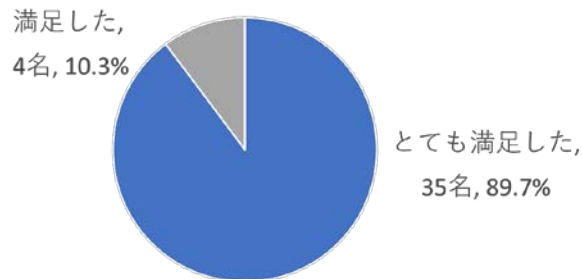
イ コロラク

持ち運びを楽にして、帰宅時間を短縮するため、スーツケース型のランドセルを販売

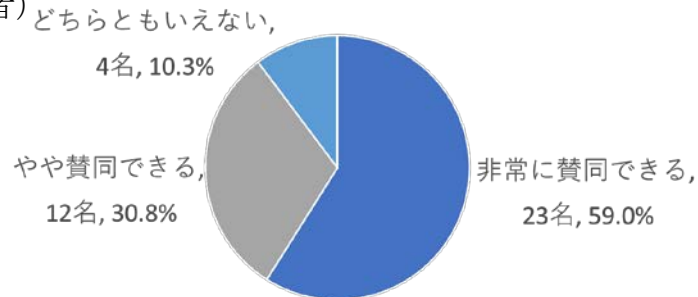
5 アンケート結果

参加児童と保護者へオンラインによるアンケートを実施し、44名中39名より回答があった。

(1) イベントに参加した感想について (参加児童)



(2) 仮にお子様が起業したいとお話しされた場合、どう感じますか (保護者)



(3) 参加児童からの意見

ア 商品を考えてお客さんに買ってもらうのは大変だけど、買ってもらえた時は自分の努力が認められた気がしたので、起業して成功したら楽しいだろうと思った。

イ お金を借りるところから、返すまで体験できたので、楽しかった。たくさんの人と話すことができたので、うれしかった。

(4) 保護者からの意見

ア 短時間でしたが、とてもよくまとめられていて驚きました。とても良い経験になったと思います。

イ お金にまつわる勉強をこの時期にできるのは、子ども自身、自分のお小遣いの使い方にも影響してくると思います。

6 今後の方針等

参加児童、保護者ともに満足度が高かった一方、委託料に対する定員一人あたりの金額が36,300円(※)であったため、今回の実施結果を踏まえ、次年度以降の開催回数や募集人数等について検討していく。

※ 1,815,000円(委託料)÷50人(定員)

産業環境委員会情報連絡

令和5年9月27日

件名	令和5年度「夏休み工場見学及びものづくり体験」の開催結果について
所管部課名	産業経済部 産業振興課
内容	<p>1 概要</p> <p>区内の優れた技術を持った企業の製品や現場を、主に小学生とその保護者に知ってもらうことで、区内のものづくりをより一層身近に感じていただき、企業のPRの機会とすることを目的として実施した。</p> <p>2 夏休み工場見学</p> <p>(1) 期間 8月1日(火)・3日(木)・4日(金)</p> <p>(2) 会場 各企業の工場・工房等</p> <p>(3) 実施内容 ア 参加企業 10社(伝統工芸、製造業等) イ 内容 工場内の見学及びものづくりワークショップ</p> <p>(4) 参加者数 95名(3日間合計)</p> <p>(5) 参加者の声 ア 子ども達が楽しめるような工夫が散りばめてありました。足立区の産業振興課の方が間に入ってくださり、安心感がありました。 イ 足立区の素晴らしい会社、工場などを知れるいい機会な上、家庭ではできない作業を子どもに体験させてあげられた。 ウ 今回は抽選になるほど人気があったと伺いました。是非参加希望者全員が体験できるよう、開催枠が増えると嬉しいです。</p> <p>(6) 企業の声 ア 専門的な質問をしてくれたり、工場やものづくりに興味をもってくれたことが実感できて良かった。 イ 普段接することのない溶接に興味を持っていただき楽しんでいたことが良かった。 ウ 子どもにもわかるような冊子を作りたいなと率直に思った。</p>

3 夏休みものづくり体験

(1) 期間

7月25日(火)～27日(木)

【午前の部】10時～12時30分

【午後の部】13時30分～16時00分

(2) 会場

東京芸術センター天空劇場

(3) 実施内容

ア 参加企業等 9社・1団体(伝統工芸・製造業等)

イ 内容 ものづくりワークショップ

(4) 参加者数 503名(3日間合計)

(5) 参加者の声

ア スタッフの方の段取りもよく、とてもスムーズに体験することが出来ました。価格設定もとても良心的で助かりました。

イ イベント全体の人数が抑えられており、いろいろな工作をすることができたため、子どもがとても喜んでいました。

ウ やりたい物が締め切っていた為、あまり楽しめなかった。

(6) 出展企業の声

ア 子どもたちにもものづくりを知っていただくにはぴったりのイベントだと思った。

イ 初めての出展だったが、子どもたちの反応も上々で楽しかった。

ウ 補助金によって体験費用が安くなるのが参加者も参加しやすく良いと思った。

4 今後の方針等

(1) ものづくり体験と工場見学ともに定員の約2倍の応募があった。来年度に向け、より多くの子どもたちが参加できるよう、体験会場や実施期間等を検討する。

(2) 参加者一名あたりの経費は、1,812円(※)であった。参加者より「安価で体験できて良かった」との声があったように経費の7割を占める参加費補助の導入は、適正であったと考えられる。来年度以降も参加費補助の継続を検討する。

※ 1,084,045円÷598名

※ 経費内容：778,400円(参加費補助)

10,295円(保険料)

295,350円(チラシ作成費)

産業環境委員会情報連絡

令和5年9月27日

件 名	「間引き野菜」の学校給食への活用について
所管部課名	産業経済部 産業振興課
内 容	<p>1 事業目的 収穫量が少なく一般的な流通には適していないと言われている「間引き野菜」を学校給食の食材として活用し、食品ロスの削減に努めていく。</p> <p>2 経緯 (1) モデル校の選定 最初のモデル校として、SDG s 未来都市の拠点となる綾瀬地区・綾瀬小学校にて実施する。 (2) 間引き食材 ア 区内農業者からアドバイスを受け、最初の食材は調理しやすい「間引き大根」とする。 イ 献立メニューは、大根のふりかけとドレッシングにする。 (3) 提供時期 「間引き大根」が出るのが秋頃のため、10月提供とする。</p> <p>3 給食提供の実施 (1) 提供日 令和5年10月25日（水） (2) 提供場所 区立綾瀬小学校 ※ 給食提供にあたり、農業者から児童に「野菜栽培における間引きの目的」等の授業を実施予定</p> <p>4 今後の方針等 農業者・JA・学校と協議し、大根以外の規格外野菜の給食活用についても検討していく。</p>

産業環境委員会情報連絡

令和5年9月27日

件 名	区民農園の利用者募集について
所管部課名	産業経済部 産業振興課
内 容	<p>1 概要 区民農園のうち、令和6年2月5日をもって利用期間が終了となる農園及び令和6年3月開園予定の農園の利用者を募集する。</p> <p>2 利用期間 令和6年3月上旬～令和8年2月上旬</p> <p>3 対象 区内在住者で、利用期間を通じて耕作できる世帯・団体 ※ 団体とは、10以上の世帯で構成され、名簿を備えている団体</p> <p>4 利用料金 (1) 世帯利用 6,000円(年額) (2) 団体利用 40,000円(年額)</p> <p>5 募集予定農園 (1) 世帯利用(1区画約15㎡) (13農園中)4農園、約368区画 (入谷ファーム、南花畑ファーム、六木ファーム、本木第二ファーム) (2) 団体利用(1区画約100㎡) 1農園、10区画 (谷在家ファーム)</p> <p>6 募集及び抽選 (1) 募集期間 令和5年10月25日(水)～令和5年11月10日(金) (2) 抽選日時 令和5年12月5日(火) 午後2時開始 (3) 会場 足立区役所</p>

	<p>7 今後の方針等</p> <p>(1) あだち広報10月25日号掲載</p> <p>(2) ホームページ掲載</p> <p>(3) 区民農園利用者募集案内を所管課窓口・区民事務所にて配布</p>
--	---

産 業 環 境 委 員 会 情 報 連 絡

令和5年9月27日

件 名	山ノ内町での友好自治体提携記念の植樹式について
所管部課名	産業経済部 産業振興課、一般財団法人足立区観光交流協会
内 容	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により延期になっていた、長野県山ノ内町との友好自治体提携40周年を記念した桜植樹式を行うので報告する。</p> <p>1 山ノ内町との提携の経緯や交流について</p> <p>(1) 経緯</p> <p>戦時中の昭和19年から20年にかけて、長野県に学童疎開した国民学校4～6年生約7,000人の内、山ノ内町へは約1,800人の子どもたちが疎開した。</p> <p>昭和57年に、区制50周年を迎えたのを機に山ノ内町と友好自治体提携を締結した。</p> <p>(2) これまでの主な交流事業について</p> <p>ア 協会主催「あだち区民まつり」や「光の祭典等」への参加</p> <p>イ 協会主催「観光PR物産展（KYU+A）」への参加</p> <p>ウ 山ノ内町主催「森の音楽会」への参加</p> <p>エ 平成24年度に友好自治体提携30周年を記念し、町役場敷地内にりんごを植樹した。</p> <p>2 桜植樹式の経緯について</p> <p>令和3年度に、翌年に控える友好自治体提携40周年に向けて、山ノ内町から記念式典実施について提案があった。</p> <p>それを受け、提携30周年では山ノ内町特産のりんごを町役場敷地内に植樹したことから、今回は足立区由来の桜品種（苗木）を植樹することとなった。その後、令和4年度秋に植樹式を予定していたが、感染症の影響に伴い、実施を延期した。</p> <p>3 桜植樹式について（予定）</p> <p>(1) 日程</p> <p>令和5年10月24日（火）</p> <p>(2) 植樹地</p> <p>やまびこ広場（山ノ内町大字平穏1065-1）</p>

(3) 植樹する桜

植樹本数は当初8本を予定していたが、植樹地の変更に伴い、先方から3本にしてほしいと話があった。桜の品種は「関山」「手毬」「ウコン」の足立区由来で栽培されてきたものを予定している。

<参考>

品 種	特徴・選定理由	写真（イメージ）
かんざん 関山	もと江北村の荒川堤から広まったといわれる紅色の濃い大輪の桜。 寒さに強く、豪雪地帯に指定されている山ノ内町でも生育できるため。	
てまり 手毬	都市農業公園で見ることができる。江戸時代の園芸家が記した園芸植物と栽培法の書物に記述がある。 手毬状の桜は、山ノ内町ではあまり見られないため。	
ウコン	黄緑系の花色が、ウコンという植物の根茎を使って染めた色に似ていることから名付けられたと言われる。 黄緑色の花が咲く桜は、山ノ内町では珍しいため。	

4 今後の方針等

植樹式に向けて、当日のスケジュールや準備するもの等、山ノ内町と協議を重ねていく。また、足立区由来の桜苗木を選考し準備を進めていく。

産 業 環 境 委 員 会 情 報 連 絡

令和5年9月27日

件 名	令和5年度東武健康ハイキングへの企画協力及び実施について
所管部課名	産業経済部 産業振興課、一般財団法人足立区観光交流協会
内 容	<p>東武鉄道主催の「令和5年度東武健康ハイキング」について、区内コースの選定や当日の事業運営協力等、以下のとおり実施する。</p> <p>なお、実施にあたっては、東武鉄道の要望により文教大学の学生ボランティア（3名）が参加している。コース選定や当日の運営等、産学連携事業として実施していく。</p> <p>1 内容 東武鉄道主催のウォーキングイベントであり、区内の魅力ある地域の中からコースを選定する。コースの全長は8 kmから12 km程度とする。</p> <p>2 実施日（予定） 令和5年10月28日（土）</p> <p>3 ウォーキングコース（予定） 約12 km (1) スタート・ゴール受付 ア スタート受付 日吉児童遊園（足立二丁目44番1号：小菅駅西側） イ ゴール受付 大師前駅 (2) 主なみどころ ア 荒川河川敷 イ 旧日光街道 ウ 区立ベルモント公園 エ 炎天寺 オ 都立舎人公園 カ 西新井大師</p> <p>4 参加者へのおもてなし企画について (1) 企画について ゴール地点である西新井大師に隣接する商店街（西新井大師商栄会）の協力により、参加者へのおもてなしの一環として商店街加盟店で利用できる割引クーポンを配布する。 なお、割引クーポンのデザインは学生ボランティアが作成する。 (2) 内容及び配布数（予定） 200円割引クーポンを先着1,000名に配布する。</p>